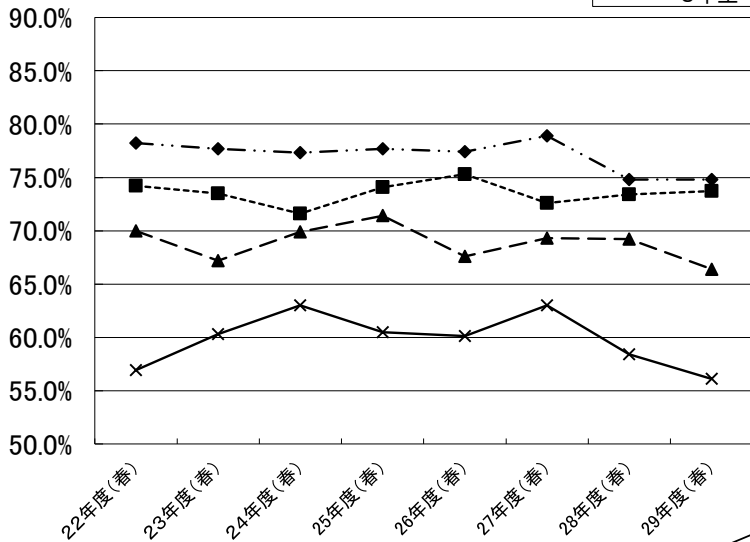


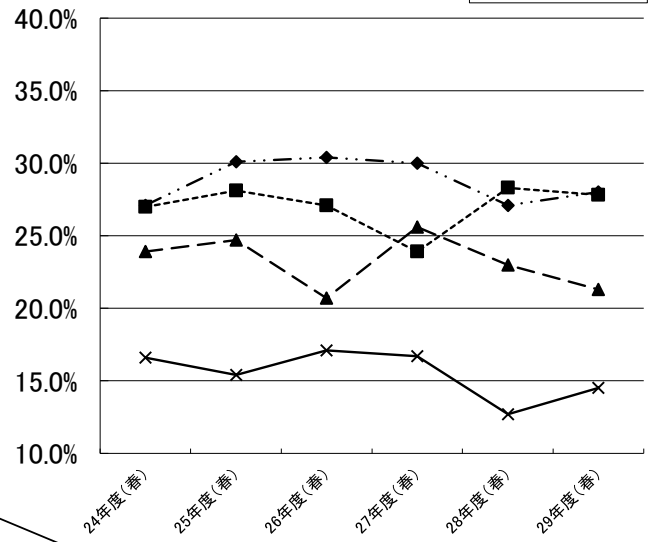
Athlete

3、6年生の後方支持回転、向上

逆上がりのできる子調査



後方支持回転のできる子調査



逆上がりのできる子調査(%)

年度 学年	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
6年	78.2%	77.7%	77.3%	77.7%	77.4%	78.9%	74.8%	74.8%
5年	74.2%	73.5%	71.6%	74.1%	75.3%	72.6%	73.4%	73.7%
4年	70.0%	67.2%	69.9%	71.4%	67.6%	69.3%	69.2%	66.4%
3年	56.9%	60.3%	63.0%	60.5%	60.1%	63.0%	58.4%	56.1%

後方支持回転のできる子調査(%)

年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
6年	27.1%	30.1%	30.4%	30.0%	27.1%	28.0%
5年	27.0%	28.1%	27.1%	23.9%	28.3%	27.8%
4年	23.9%	24.7%	20.7%	25.6%	23.0%	21.3%
3年	16.6%	15.4%	17.1%	16.7%	12.7%	14.5%

<考察>

【中学年の逆上がりに課題】

○逆上がりの達成率で、**3年生と4年生の数値が昨年度よりも下がり、課題が残る結果となりました。**中学年の逆上がり達成率を向上させるためには、低学年での基礎感覚作りが重要になります。秋の鉄棒調査項目にある「足抜き回り」では、逆上がりにつながる重要な基礎感覚を養うことができます。逆上がりに必要な基礎感覚とは、「逆さ回転感覚」や「体を支える筋力」などです。低学年のうちから、逆上がりの基礎となる足抜き回りの指導を重点的に行っていくことで、3年生4年生の逆上がり達成率が上がると考えられます。

【できた経験がその後の意欲付けとなる】

○**3年生、6年生の後方支持回転の達成率が、昨年度と比べ向上しました。**また、5年生の逆上がりの達成率も向上しています。しかし、3年生、6年生の逆上がりの達成率に着目すると、6年生は昨年度と同じ、3年生は数値が下がってしまっています。つまり、逆上がりと後方支持回転のどちらもできる児童が増えたが、逆上がりができない児童も増えたということです。逆上がりクリアできた児童が、後方支持回転にも意欲的に挑戦したことが分かります。できた経験が、その後の練習への活力となります。逆上がりができる児童が増えることで、より後方支持回転の達成率も向上していくと考えられます。

【達成率向上のために・・・】～こんな取り組み、してみませんか？～

- ・子どもたちが鉄棒に触れる時間を十分に確保することが大切。そのために、教師も休み時間に外に出て、子どものがんばりを認める。(個別指導を重点的に行う。)
- ・委員会活動とタイアップし、「鉄棒週間」を設けて講習会を行ったり、認定証をあげたりする。
- ・鉄棒バットやタオルなど、補助具を活用する。(数の確認、修繕まで。)